ICOM

取扱説明書

デジタル簡易無線機

IC-DU5505CN

この無線機を使用するには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。
この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、工事設計認証を受けた国内業務用デジタル簡易無線機です。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

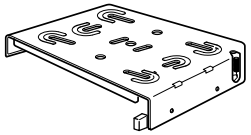
本書では、本製品同士(2台)をネットワークで接続した状態で使用できる機能を中心に、一般的なご使用を想定した内容を掲載していますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc. 、アイコムロゴ、ポケットビープは、アイコム株式会社の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
本製品のフォントは、リョービのフォントを採用しています。

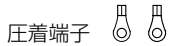
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

付属品について



取り付けブラケット

DC電源ケーブル



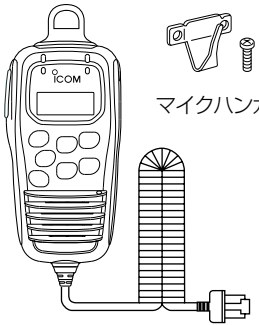
圧着端子
（DC電源ケーブル用）

予備ヒューズ
（125V/5A）

取り付けネジ一式
（取り付けブラケット用）

マイクハンガー

プラグ
（外部スピーカー用）



マイクロホン（HM-187）

□ 取扱説明書（本書）
□ 保証書

本製品の概要について

◎本製品同士（2台）をIPネットワークで接続することで、地下と地上など、無線機同士で直接無線通信できない相手と通信できます。
◎接続形態に応じて、「遠隔制御システム」と「エリア拡張システム」のどちらかを設定★できます。
◎本製品の動作モード★には、操作機と送受信機があります。送受信機は、「遠隔制御システム」に設定された操作機からIPネットワークで遠隔操作することで無線通信できます。「エリア拡張システム」に設定された操作機では、送受信機の遠隔操作に加え、操作機から直接電波を送受信できます。
◎内線通話機能★により、地下と地上などに設置した本製品同士がIPネットワークで内線通話できます。
◎個別呼び出し機能★搭載により、運用形態に合わせて4種類（全体/基地局/個別/グループ）の呼び出しができます。
◎通話チャンネル番号、自局番号、相手局番号の代わりとして、漢字、英数字、記号、外字を使用した半角8（全角4）文字で表示できます。★
◎卓上電源装置（別売品：PS-230A）と組み合わせることで、ACコンセントから電源を供給できます。
◎本製品と無線通信できる弊社製無線機（移動機）として、IC-DU5505CとIC-DU55Cが使用できます。
（2010年8月現在）
◎IPネットワークに接続しないときは、デジタルモード/アナログモード★搭載の無線機として使用できます。

★各種機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

はじめに

電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を取得した国内業務用デジタル簡易無線機です。
本製品は電波法に基づき本体を容易に分解できない構造になっていますので、ご自分で分解や改造をしないでください。

◎免許状に記載されている範囲内で通信してください。
インターネットなどの広域ネットワークで結ばれた範囲では、使用できません。
本製品(操作機と送受信機)は、1つの建物、または管理された敷地内など、比較的限られた範囲に構築されたIPネットワーク(専用線など)でシステムを構築してください。

◎他局の通信の妨害、および通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。

◎免許の有効期限は、免許取得日から5年間です。
再免許の申請は、免許の切れる6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。

◎使用できるのは、日本国内に限られています。

取り扱い上のご注意

◎テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれた場所に設置してください。

◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

放熱について

本製品は長時間運用すると、後面部の温度が高くなります。
子供や周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
また、本製品はできるだけ風通しのよい、放熱の妨げにならない場所に設置してください。

もくじ

はじめに ―――――――――――――――― i

取扱説明書の内容について …… i
登録商標/著作権について …… i
付属品について …… ii
本製品の概要について …… ii
電波法上のご注意 ……iii
取り扱い上のご注意 ……iii
放熱について ……iii

安全上のご注意 ――――――――――vi

1.システム構成について ――――――― 1

■「遠隔制御システム」について ……1
■「エリア拡張システム」について ……2

2.各部の名称と機能 ――――――――― 4

■ 無線機本体 ……4
■ マイクロホン(操作機側) ……5
■ マイクロホン(送受信機側) ……7
■ 表示部 ……8

3.システム運用前の準備について ――― 9

■ システムを起動するには……9
1.電源を入れる ……9
2.IPネットワーク接続の成功を確認する …… 10
3.音量を調整する …… 11
■ 交信時のアドバイス …… 11
1.マイクロホンの使いかた …… 11
2.正しい交信方法について …… 11
3.交信する場所について …… 11
4.個別呼び出しについて …… 12
5.相手局から応答がないときは …… 12
6.混信防止(キャリアセンス)機能について …… 12

4.遠隔制御システムでの運用方法 ―― 13

■ 交信のしかた …… 13
1.通話チャンネル(CH)番号の選択 …… 13
2.相手局番号の選択 …… 14
3.呼び出しをする …… 15
◇ アンサーバック機能について …… 15
4.呼び出しを受ける …… 16
5.交信する …… 16

もくじ

5.エリア拡張システムでの運用方法 ― 17

■ 移動機間通信機能を使用するには …… 17
■ 本製品から移動機を呼び出すには …… 19
1.電波を送信する無線機(送信権)の選択 …… 19
◇ 送信権の自動切り替えについて …… 19
2.通話チャンネル(CH)番号の選択 …… 20
3.相手局番号の選択 …… 21
4.呼び出しをする …… 22
◇ アンサーバック機能について …… 22
5.呼び出しを受ける …… 23
6.交信する …… 23

6.そのほかの機能について ―――― 24

■ 内線通話機能 …… 24
■ ロック機能 …… 24
■ Pベル機能 …… 25
■ ポケットビープ機能 …… 25
■ 送信出力の切り替え …… 25
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー) …… 25
■ ショートメッセージ機能 …… 27
■ 操作機のモニター機能 …… 27
■ 送受信機のモニター機能 …… 27
■ IPネットワーク未接続時の動作について …… 28

7.セットモードについて ―――― 29

■「セットモード」に移行するには …… 29
■ 設定項目について …… 29

8.本製品の設置について ―――― 32

■ 設置のしかた …… 32
◇ 卓上電源装置を使用する場合 …… 32
◇ 取り付けブラケットを使用する場合 …… 32

9.本製品の接続について ―――― 33

■ マイクロホンの接続について …… 33
■ LANケーブルの接続について …… 33

10.保守について ―――― 34

■ ヒューズの交換について …… 34
■ 日常のお手入れと点検について …… 34
■ 故障かな？と思ったら …… 34
■ アフターサービスについて …… 36

11.別売品について ―――― 37

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

◎ **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
◎ **次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。**
◎ **お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。**

⚠危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【免責事項について】
お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

⚠警告

◎ **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
◎ **電子機器の近く（特に医療機器のある病院内）では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。

安全上のご注意

⚠警告（つづき）

◎ **下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**

- 水などでぬれやすい場所(屋外や加湿器のそばなど)に設置しないでください。
- 分解や改造は、絶対にしないでください。
  また、ご自分で修理しないでください。
- 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
- 指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
- DC電源ケーブルを接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
- DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
- 線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。

◎ **本製品のDC電源ケーブルや卓上電源装置(別売品)の電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **本製品のDC電源ケーブル、卓上電源装置(別売品)の電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **接続がゆるかったり、DC電源ケーブルや接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**
ショートして発火の原因になります。

◎ **マイクロホンのケーブルを持って､マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

◎ **DC電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。**
ショートして発火の原因になります。

◎ **長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。**
発熱、火災の原因になります。

◎ **雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブル、卓上電源装置(別売品)の電源ケーブルには、絶対に触らないでください。**
感電の原因になります。

◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。

◎ **万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠警告（つづき）

◎ **指定以外のヒューズを使用しないでください。**
火災、故障の原因になります。

⚠注意

◎ **インバーター内蔵の電子機器の周辺で使用しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎ **テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎ **直射日光の当たる場所やヒーター 、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎ **ネットワーク接続ケーブルのジャック部分、マイクジャック部分に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして発火の原因になることがあります。

◎ **容易に人が触れることができる場所にアンテナを設置しないでください。**
送信中のアンテナは高電圧になることがあるため、感電、けが、故障の原因になることがあります。

◎ **長時間使用すると、後面部の温度が高くなりますので、後面部を触らないでください。**
また、周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
やけどすることがあります。

⚠注意（つづき）

◎ **下記の事項を守らないと、故障の原因になることがあります。**

- 説明と異なる接続をしないでください。
  また、本製品との接続（LANケーブル/マイクロホン）を間違えないように十分注意してください。
- 指定以外の別売品を使用しないでください。
- −20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
- ぬれた手で本製品のDC電源ケーブルや卓上電源装置（別売品）の電源ケーブル、または本製品に触れないでください。

◎ **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎ **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

◎ **本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。

◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

1 システム構成について

操作機と送受信機に設定された本製品同士(2台)をIPネットワークに接続することで、操作機から送受信機を遠隔制御できるシステムです。

※システム構成には、「遠隔制御システム」と「エリア拡張システム」があり、あらかじめどちらかが操作機に設定されています。

※内線通話機能(☞P24)が設定されたシステムでは、操作機と送受信機がIPネットワークを使用して内線通話できます。

※IPネットワーク接続時、本製品は、デジタルモードで動作しますので、アナログモードに設定された弊社製無線機(IC-DU55C/IC-DU5505C)とは交信できません。
また、操作機と送受信機に設定された本製品での同時送信、または同時受信はできません。

※送受信機に接続されたマイクロホンは、交信に使用できませんが、IPネットワーク接続では必ず接続してください。

※システム構成、動作モード(操作機/送受信機)の変更をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■「遠隔制御システム」について

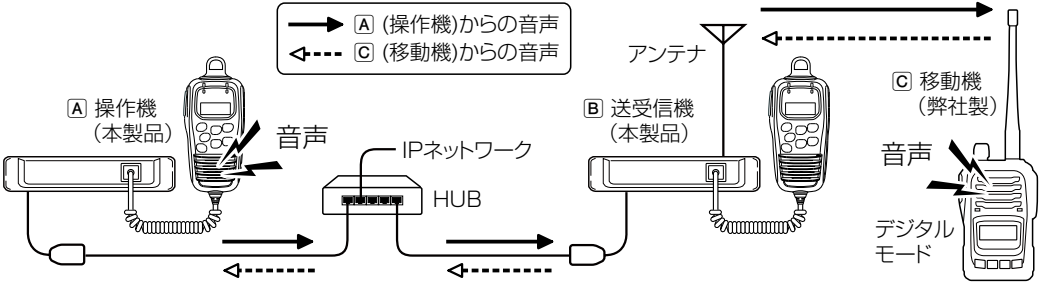
「遠隔制御システム」に設定されている場合は、IPネットワークと無線機を下図のように構成してください。

◎[Ⓐ 操作機]に接続されたマイクロホンを使用して、相手局番号を選択(☞P14)して送信すると、[Ⓑ 送受信機]から電波が送信され、[Ⓒ 移動機](IC-DU55C/IC-DU5505C)と交信できます。

◎[Ⓒ 移動機]から送信された電波を[Ⓑ 送受信機]で受信すると、[Ⓒ 移動機]の音声が[Ⓐ 操作機]に接続されたマイクロホンのスピーカーから聞こえます。

※[Ⓒ 移動機]がアナログモードに設定されているときは、本製品と交信できません。

※[Ⓐ 操作機]は、IPネットワークを使用した通信に限定されますので、アンテナの接続は不要です。



■「エリア拡張システム」について

「エリア拡張システム」に設定されている場合は、IPネットワークと無線機を下図のように構成してください。

◎移動機間通信機能(☞P17)を設定することで、[C 移動機]、または[D 移動機](IC-DU55C/IC-DU5505C)が送信した電波を本製品(A 操作機/B 送受信機)に接続されたIPネットワークを介して中継できます。

◎[A 操作機]に接続されたマイクロホンには、[C 移動機]、または[D 移動機]が交信する音声が聞こえます。

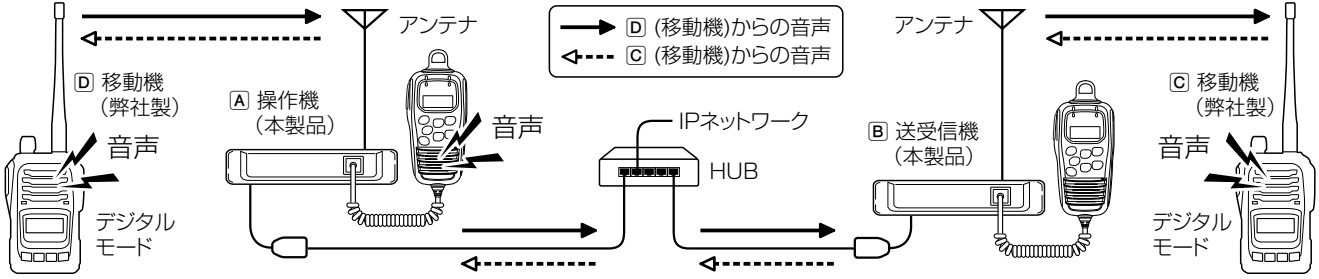
※1つの通話チャンネル(CH)番号が設定されている場合、[A 操作機]と[B 送受信機]は、同じ通話チャンネル(CH)番号となりますので、下図のように本製品(A 操作機/B 送受信機)を中継して[C 移動機]と[D 移動機]が交信できます。

※複数の通話チャンネル(CH)番号が設定されている場合、[A 操作機]と[B 送受信機]は、同じ通話チャンネル(CH)番号を選択できませんので、[A 操作機]と[B 送受信機]は異なる通話チャンネル(CH)番号で待ち受けします。
[A 操作機]と[D 移動機]、[B 送受信機]と[C 移動機]を同じ通話チャンネル(CH)番号に設定することで、下図のように本製品(A 操作機/B 送受信機)を中継して[C 移動機]と[D 移動機]が交信できます。

※[C D 移動機]がアナログモードに設定されているときは、本製品と無線通信できないため、移動機間通信も機能しません。

※移動機間通信機能を使用する場合は、ユーザーコードが設定された通話チャンネル(CH)番号を必ずご使用ください。
ユーザーコードの設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

◎移動機間通信機能による中継



■「エリア拡張システム」について(つづき)

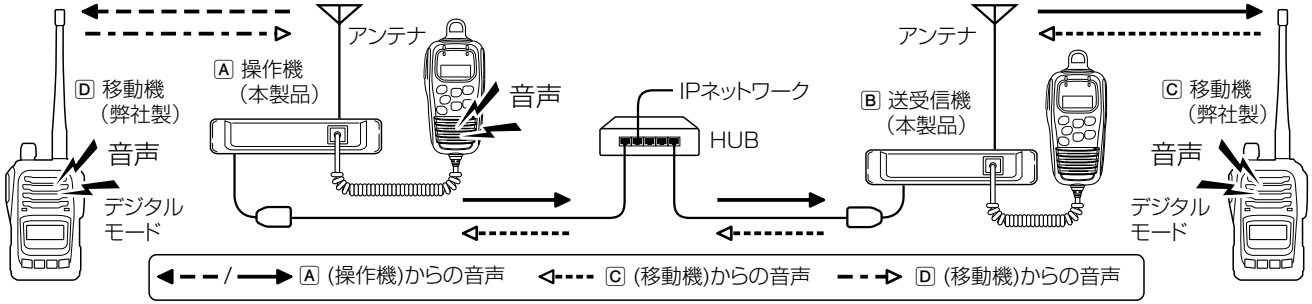
◎ [Ⓐ 操作機]に接続されたマイクロホンを使用して、電波を送信できる無線機(Ⓐ 操作機/ Ⓑ 送受信機)を切り替える(☞P19)と、下図のように、[Ⓐ 操作機]から[Ⓒ 移動機]、または[Ⓓ 移動機]を呼び出しできます。(☞P22)
また、[Ⓒ 移動機]、または[Ⓓ 移動機]から[Ⓐ 操作機]を呼び出しできます。

◎送受信機のモニター機能(☞P27)を設定することで、[Ⓐ 操作機]側で交信している通話内容を[Ⓑ 送受信機]側に接続しているマイクロホンのスピーカーにも音声出力できます。

※複数の通話チャンネル(CH)番号が設定されている場合、[Ⓐ 操作機]と[Ⓑ 送受信機]は、同じ通話チャンネル(CH)番号を選択できませんので、[Ⓐ 操作機]と[Ⓑ 送受信機]は異なる通話チャンネル(CH)番号で待ち受けします。
呼び出しを受けると、その無線機(Ⓐ 操作機/ Ⓑ 送受信機)に設定された通話チャンネル(CH)番号で応答できます。

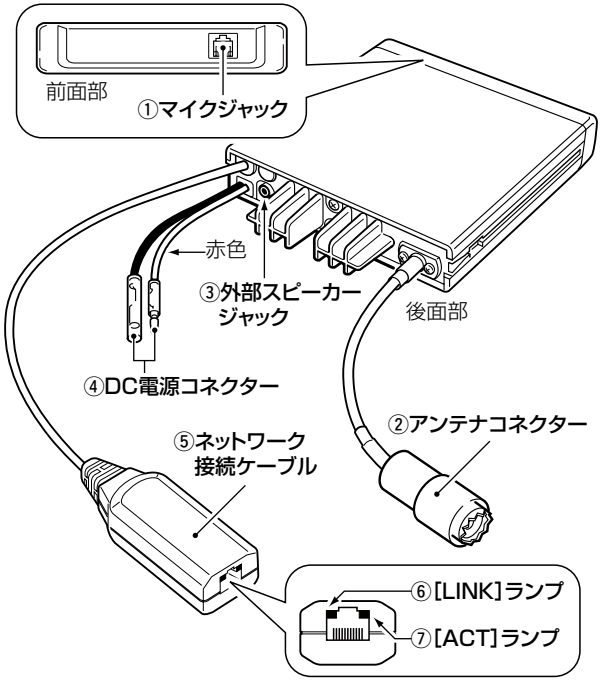
※1つの通話チャンネル(CH)番号が設定されている場合、[Ⓐ 操作機]と[Ⓑ 送受信機]は、同じ通話チャンネル(CH)番号となりますが、[Ⓒ 移動機]と[Ⓓ 移動機]を同時に呼び出しできません。

◎[Ⓐ操作機]から[Ⓒ移動機]、または[Ⓓ移動機]を呼び出す



■ 無線機本体

接続については、9章(☞P33)をご覧ください。



① マイクジャック(☞P33)

マイクロホン(付属品)を接続★1.します。

★1.接続するときは、**「カチッ」**と音が鳴るまで差し込んでください。

★1.故障の原因になりますので、LANケーブルは接続しないでください。

② アンテナコネクター

アンテナを接続するコネクター(M型)です。

インピーダンス50Ωのアンテナを接続します。

③ 外部スピーカージャック(φ3.5mm/インピーダンス:4Ω)

外部スピーカー(別売品:SP-30)、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)のスピーカーを接続します。

④ DC電源コネクター(動作範囲:DC12V ～24V)

DC電源ケーブル(付属品)を接続します。

※電源は、安定化電源装置(DC13.8V/2A以上)、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)と接続します。

⑤ ネットワーク接続ケーブル(☞P33)

操作機と送受信機に設定された本製品(2台)をHUBなどのネットワーク機器を介して接続★2.します。

★2.接続するときは、**「カチッ」**と音が鳴るまで差し込んでください。

★2.故障の原因になりますので、マイクロホンは接続しないでください。

※お買い上げの販売店でIPネットワークの設定が完了するまで、既存のネットワークに接続しないでください。

⑥ [LINK]ランプ

消灯　　:IPネットワークと未接続時

点灯(緑色):IPネットワークと[100BASE-TX]で接続中

点灯(橙色):IPネットワークと[10BASE-T]で接続中

⑦ [ACT]ランプ

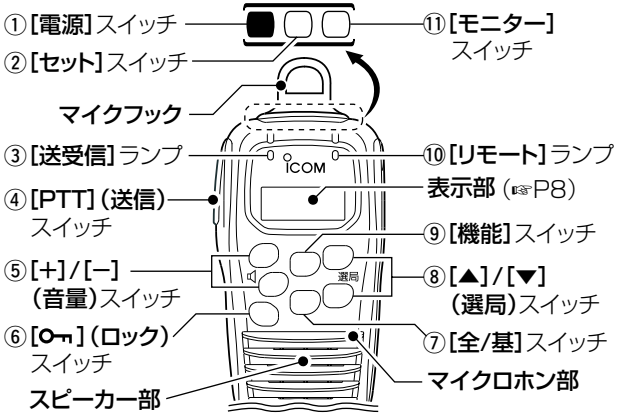
消灯　　:IPネットワークと無通信時

点灯(橙色):IPネットワークと半二重で通信中

点灯(緑色):IPネットワークと全二重で通信中

■ マイクロホン(操作機側)

操作機側に接続されたマイクロホンの操作を説明します。



① **[電源]**スイッチ(☞P9)
本製品の電源を「ON」/「OFF」します。

② **[セット]**スイッチ(☞P29)
短く押すごとに、セットモードの「移行」/「解除」を切り替えます。
※緊急呼び出し機能(☞P25)が設定されている場合、長く押すと、緊急呼び出しを開始します。

③ **[送受信]**ランプ(☞P15、P16、P22、P23)
電波を送信中は赤色に点灯、電波を受信中は緑色に点灯します。

④ **[PTT](送信)**スイッチ(☞P15、P16、P22〜P24)
押すと送信、はなすと受信に切り替えます。
※内線通話機能(☞P24)を使用中は、送受信機の相手との内線通話に使用します。

⑤ **[+]/[−](音量)**スイッチ(☞P11)
本製品の音量(0〜32)を調整します。
[+]を押すと大きく、**[−]**を押すと小さくなります。

⑥ **[🔑](ロック)**スイッチ(☞P24)
長く押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」します。

⑦ **[全/基]**スイッチ(☞P14、P21)
個別呼び出し機能(☞P12)が設定されている場合、押すごとに、相手局の呼び出しかたを示す表示を「全体」→「基地」→「個別」→「グループ」の順番に切り替えます。
※送信出力の切り替え(☞P25)が設定されている場合、長く押すごとに、「5W(High)」/「1W(Low)」を切り替えます。
※「セットモード」(☞7章)のときは、設定項目を逆送りで切り替えます。
※移動機間通信機能(☞P2、P17)による通信中は、操作できません。

⑧ **[▲]/[▼](選局)**スイッチ(☞P13、P14、P20、P21)
押すごとに、通話チャンネル(CH)番号を切り替えます。
※個別呼び出し機能(☞P12)が設定されている場合、個別呼び出しする相手局(個別/グループ)番号を切り替えます。
※「セットモード」(☞7章)のときは、各設定項目の設定値を切り替えます。
※移動機間通信機能(☞P2、P17)による通信中は、操作できません。

⑨ **[機能]**スイッチ(☞P13、P20)

個別呼び出し機能(☞P12)が設定されている場合、押すごとに、通話チャンネル(CH)番号表示と相手局(全体/基地局/個別/グループ)表示を切り替えます。★

※「エリア拡張システム」に設定されている場合、長く押すごとに、操作機に設定された無線機から電波を送信するか、送受信機に設定された無線機から電波を送信するかを切り替えます。(送信権の切り替え)

※「セットモード」(☞7章)のときは、設定項目を順送りで切り替えます。

★移動機間通信機能(☞P2、P17)による通信中を除きます。

⑩ **[リモート]**ランプ(☞P13、P19)

◎「遠隔制御システム」に設定されている場合

消灯　　:内線通話機能(☞P24)を使用しているとき

点灯(橙色):送受信機とIPネットワークで接続中のとき

◎「エリア拡張システム」に設定されている場合

消灯　　:内線通話機能(☞P24)を使用中、または操作機に設定された無線機から電波が送信できるとき(操作機に送信権があるとき)

点灯(橙色):送受信機に設定された無線機から電波を送信できるとき(送受信機に送信権があるとき)

⑪ **[モニター]**スイッチ

押しているあいだ操作機のモニター機能★(☞P27)が動作します。

動作中は、**[送受信]**ランプが点灯(緑色)し、スピーカー部から**「ザー」**と音が出ます。

※相手局番号(☞P14、P21)が異なる他局の交信を受信するとき、または相手局の電波が弱く、聞こえにくいときに使用します。

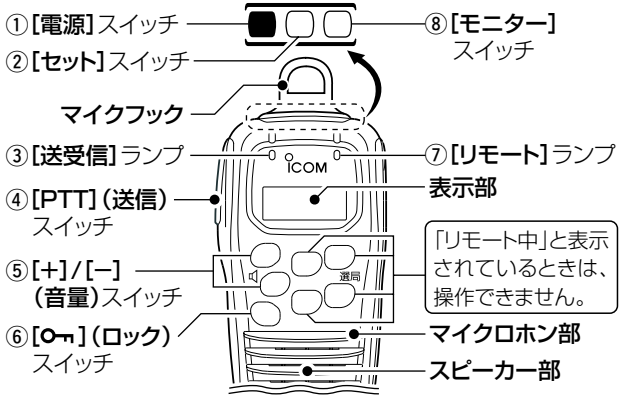
※操作機側、または操作機側と送受信機側の両方に内線通話機能(☞P24)が設定されている場合、押すごとに、内線通話の「ON」/「OFF」を切り替えます。

★操作機側に内線通話機能(☞P24)が設定されている場合、操作機のモニター機能は使用できません。

■ マイクロホン(送受信機側)

送受信機側に接続されたマイクロホンの操作を説明します。

※IPネットワーク接続中、下図(① ～⑧)で示すスイッチ以外は、送受信機側のマイクロホンから操作できません。
なお、送受信機側のマイクロホンから、② 、④ 、⑧のスイッチ操作をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



① **[電源]**スイッチ(☞P9)
本製品の電源を「ON」/「OFF」します。

② **[セット]**スイッチ(☞P29)
短く押すごとに、セットモードの「移行」/「解除」を切り替えます。

③ **[送受信]**ランプ(☞P15、P16、P22、P23)
電波を送信中は赤色に点灯、電波を受信中は緑色に点灯します。
※「エリア拡張システム」でご使用の場合、操作機側のアンテナから電波を送信中は、緑色に点灯します。

④ **[PTT](送信)**スイッチ(☞P24)
表示部に「内線」と表示された状態で押しつづけると、操作機の相手に内線通話できます。
※内線通話機能(P24)を使用していない場合、または表示部に「リモート中」と表示されているときは、操作できません。

⑤ **[+]/[−](音量)**スイッチ(☞P11)
本製品の音量(0～32)を調整します。
[+]を押すと大きく、**[−]**を押すと小さくなります。

⑥ **[🔑](ロック)**スイッチ(☞P24)
長く押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」します。

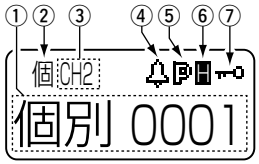
⑦ **[リモート]**ランプ(☞P13、P19)
◎「遠隔制御システム」に設定されている場合
消灯　:内線通話機能(☞P24)を使用しているとき
点灯(橙色):操作機とIPネットワークで接続中のとき
◎「エリア拡張システム」に設定されている場合
消灯　:内線通話機能(☞P24)を使用中、または操作機に設定された無線機から電波が送信できるとき(操作機に送信権があるとき)
点灯(橙色):送受信機に設定された無線機から電波を送信できるとき(送受信機に送信権があるとき)

⑧ **[モニター]**スイッチ
送受信機側、または送受信機側と操作機側との両方に内線通話機能(☞P24)が設定されている場合、押すごとに、内線通話の「ON」/「OFF」を切り替えます。

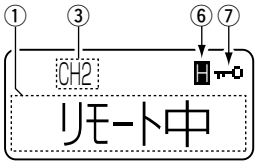
■ 表示部

IPネットワークで運用時の表示内容について説明します。

【操作機側】



【送受信機側】



① **[相手局番号/設定内容]**表示

◎操作機側では、音量(0～32)、通話チャンネル(CH)番号★、または個別呼び出しする相手局(全体/基地局番号/個別番号/グループ番号)★を表示します。

通話チャンネル番号表示

通話チャンネル名称表示

★チャンネル番号、および相手局番号の代わりに、漢字(例:防災01)やアルファベットを表示します。
表示設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※「セットモード」(☞7章)のときは、設定項目とその設定値を表示します。

◎送受信機側では、「リモート中」、音量(0～32)を表示します。

② **[呼び出し(全/基/個/グ/)モード]**表示

相手局の番号、または相手局名称が①部分に表示されたとき、その局に対する呼び出しかた(全体/基地局/個別/グループ/グループメンバー)を表示します。(☞P14、P21)

③ **[ガイドメッセージ]**表示

◎操作機側では、通話チャンネル名称、相手局番号または相手局名称が①部分に表示されたとき、その局の呼び出しに使用する通話チャンネル(CH)番号を表示します。

※呼び出しを受けたときは「着信」表示を点滅、着信に応答したときは「通話」表示を点滅します。
また、「セットモード」(☞7章)のときは、「SET」と表示します。

※自局番号の代わりに、漢字やアルファベットを設定している場合は、本製品の電源を入れた直後に「自局」と表示します。

◎送受信機側では、操作機側から選択された送受信機の通話チャンネル(CH)番号を表示します。

④ **[(ベル)]**表示

個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。

※IPネットワーク接続で、ポケットビープ機能(☞P25)が設定されているき、表示します。

⑤ **[(Pベル機能)]**表示

IPネットワーク接続で、Pベル機能(☞P25、P29)が設定されているとき、表示します。

⑥ **[/ (High/Low:送信出力)]**表示

各通話チャンネル(CH)番号の送信出力設定を表示します。

:5W(High)設定時に表示

:1W(Low)設定時に表示

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⑦ **[(ロック機能)]**表示

ロック機能(☞P24)が設定されているとき、表示します。

3 システム運用前の準備について

■ システムを起動するには

操作機と送受信機の電源を入れます。

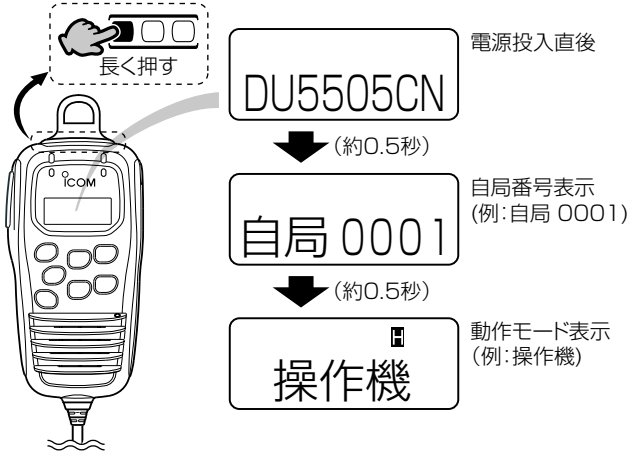
1 電源を入れる

マイクロホンの**[電源]**スイッチを長く押します。

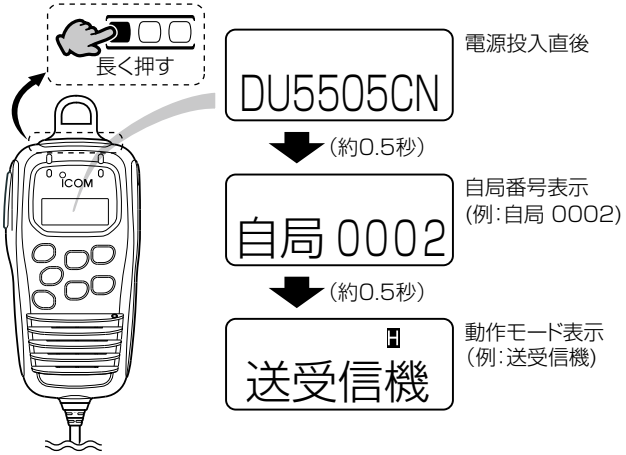
- ビープ音が**「ピー」**と鳴り、表示部のバックライト(☞P30)が点灯します。

※個別呼び出し機能が設定されている場合は、自局番号を表示します。
なお、システム運用時の自局番号は、操作機側に設定された自局番号(例:自局 0001)が有効になります。

◎ 動作モードが「操作機」の場合



◎ 動作モードが「送受信機」の場合



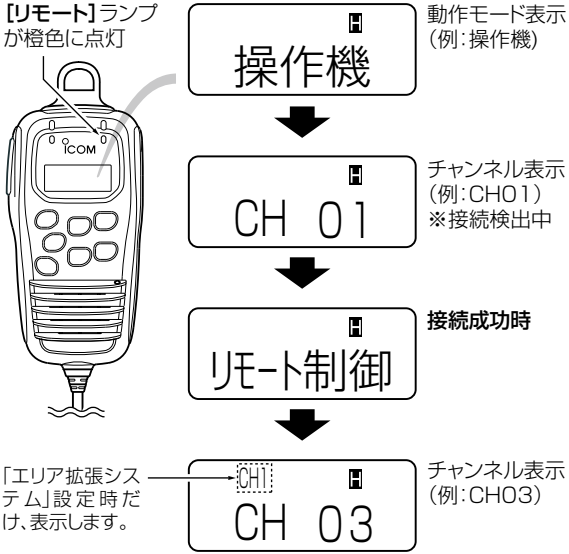
《ご参考に》
表示部に「リモート解除」、または「両操作機」と表示される場合は、「故障かな？と思ったら」(☞P35)をご覧になり、原因を確認してください。

2 IPネットワーク接続の成功を確認する

操作機と送受信機では、IPネットワークへの接続が成功したときの表示が異なります。

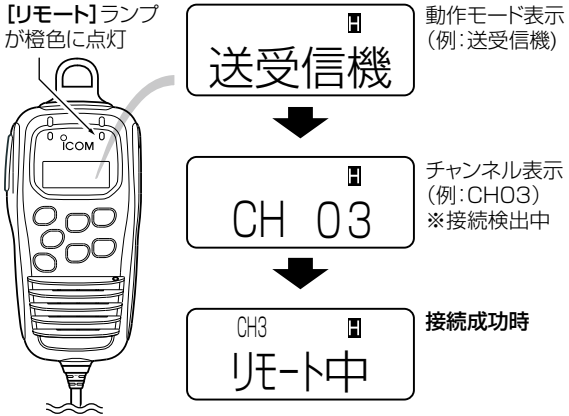
◎動作モードが「操作機」の場合

「リモート制御」を表示後、**[リモート]**ランプの点灯(橙色)と通話チャンネル(CH)番号(例:CH03)の表示を確認します。



◎動作モードが「送受信機」の場合

「リモート中」表示と**[リモート]**ランプの点灯(橙色)を確認します。



《接続失敗時の表示》

◎操作機側は、電源を入れてから約15秒後、「回線エラー」(約2秒間)→「リモート解除」の順に表示します。
このとき、ビープ音が**「ブッ」**と鳴ります。

◎送受信機側は、電源を入れてから約15秒後、「リモート解除」を表示します。
このとき、ビープ音が**「ブッ」**と鳴ります。

■ システムを起動するには（つづき）

3 音量を調整する

[+]/[−]（音量）スイッチを押します。

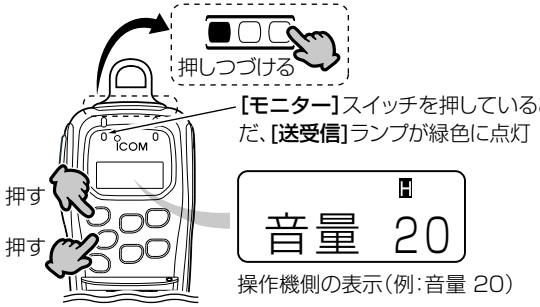
● 調整範囲：0～32（例：音量 20）

待ち受け中に音量を調整するときは、**[モニター]**スイッチを押しているあいだ、**「ザー」**という音が出ますので、この音を聞いて調整します。（操作機のモニター機能☞P27）

調整後は、**[モニター]**スイッチをはなします。

※操作機側に内線通話機能（☞P24）が設定されている場合、操作機のモニター機能は使用できません。

※内線通話機能、送受信機のモニター機能（☞P27）を使用するときは、送受信機側も音量を調整してください。



《ご注意》音量が最小のときは、操作音（ビープ音）や受信した音声は聞こえません。

■ 交信時のアドバイス

1.マイクロホンの使いかた

マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で交信してください。

マイクロホンに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

2.正しい交信方法について

次の要領で交信をしてください。

用件は簡潔に話し、長い交信はさけてください。

	呼び出すとき	応答するとき
「相手局の呼び出し名称」	3回以下	3回以下
「こちらは」	1回	1回
「自局の呼び出し名称」	3回以下	1回
「どうぞ」	1回	1回

3.交信する場所について

移動機（IC-DU55C/IC-DU5505C）が電波の届きにくい場所に移動したときは、受信しにくくなることがあります。

そのようなときは、移動機が電波の届きやすい場所に移動してから交信してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くに本製品を設置すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなして設置してください。

4.個別呼び出しについて

相手局を呼び出すには、通話チャンネル(CH)番号(☞P13、P20)を相手局と同じ設定にしてください。

また、個別呼び出し機能と併用する場合は、個別番号も相手局の自局番号と同じ番号に設定してください。

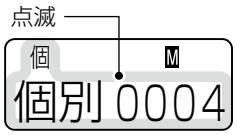
※個別番号とは、相手の無線機に設定されている自局番号のことで、無線機ごとに異なる自局番号を設定することで、呼び出す相手を指定する番号です。

※設定されている自局番号は、無線機の電源を入れた直後の約0.5秒間だけ表示されます。(☞P9)

※設定については、お買い上げの販売店におたずねください。

5.相手局から応答がないときは

相手が無線機からはなれている場合や電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、相手局番号表示の点滅が停止してから、**[PTT](送信)**スイッチを押しなおすと、何回でも同じ相手局(基地/個別/グループ)を呼び出しできます。



[PTT](送信)スイッチをはなした直後の表示

6.混信防止(キャリアセンス)機能について

無線通信による混信を防止するため、キャリアセンス機能が動作すると、送信しようとする通話チャンネル(CH)番号が、ほかの人によって使用されていない場合は送信できますが、ほかの人によって使用されている場合は、**[PTT](送信)**スイッチを押しても、**「ブッ」**と鳴って送信できません。

※送信できないときは、「先方話中」を操作機側に表示します。

※本製品では、送受信機側から電波が送信されるたびに、キャリアセンス機能が動作します。

※「エリア拡張システム」(☞P17)で使用する操作機側のアンテナから電波を送信する場合は、キャリアセンス機能は動作しません。

なお、移動機間通信機能(☞P2、P17)では、操作機側から電波を送信する中継動作をするたびに、キャリアセンス機能が動作します。

送信が禁止されたことを操作機側に表示します。

4 遠隔制御システムでの運用方法

■ 交信のしかた

交信は、操作機側に接続されたマイクロホンを使用します。

※本製品のマイクロホンに「リモート解除」が表示され、**[リモート]**ランプが消灯(☞P6、P7)しているときは、交信できません。

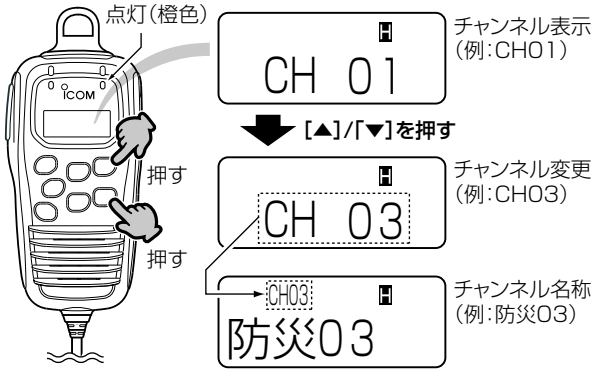
1 通話チャンネル(CH)番号の選択

操作機側に接続されたマイクロホンを使用して、交信する相手局(移動機)と同じ通話チャンネル(CH)番号に設定します。

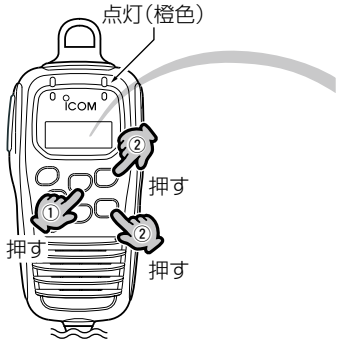
◎通話チャンネル(CH)番号が表示されている場合

[▲]/[▼](選局)スイッチを押します。

- 通話チャンネル(CH)番号が切り替わります。



◎相手局番号が表示されている場合

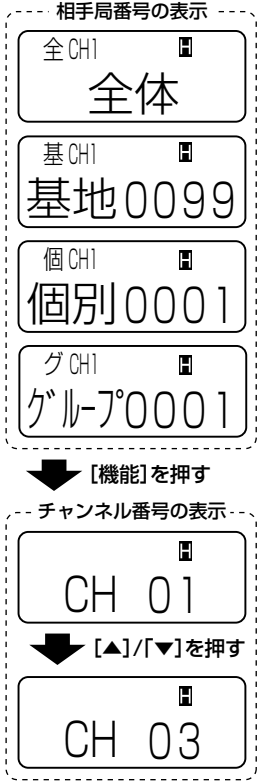


①**[機能]**スイッチを押して、通話チャンネル(CH)番号表示に切り替えます。

※押すごとに、チャンネル番号表示と相手局(全体/基地局/個別/グループ)表示を切り替えます。

②**[▲]/[▼](選局)**スイッチを押します。

- 通話チャンネル(CH)番号(例:CH03)が切り替わります。



2 相手局番号の選択

相手局(移動局)を呼び出すには、相手局番号を下記の4種類(全体/基地局/個別/グループ)から選択します。

※個別呼び出し機能(☞P12)が設定されていない場合は、「3.呼び出しをする」に進みます。

◎ **全体呼び出し(全)→→→→→→→**
一斉に全局を呼び出します。

◎ **基地局呼び出し(基:0099)→→→**
「0001」～「9999」のうち基地局に指定された1局(出荷時の設定:0099)を呼び出します。

◎ **個別呼び出し(個:0001～9999)→**
「0001」～「9999」(自局番号を除く)のうち選択された1局を呼び出します。

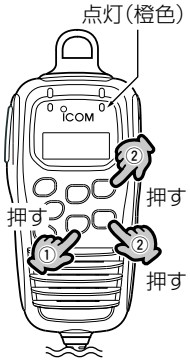
◎ **グループ呼び出し**
(グ/☒:0001～9999)→→→→→
「0001」～「9999」のグループ番号のうちグループメンバーに指定(☒)されたグループ番号の相手局を一斉に呼び出します。

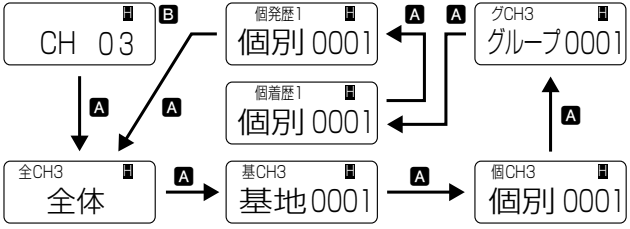
※相手局番号(基地局/個別/グループ/グループメンバー)の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

① 呼び出しかた(全体/基地/個別/グループ)を選択する

[全/基]スイッチを押すごとに、「全体(全)」→「基地(基)」→「個別(個)」→「グループ(グ)/グループメンバー(☒)」→「個別(個着歴)」→「個別(個発歴)」の順番に相手局表示を切り替えます。
また、一巡すると、「全体」表示に戻ります。

※全体、または基地局呼び出しの場合、手順②の操作は必要ありません。





A[全/基]スイッチを押す
B[機能]スイッチを押すと、通話チャンネル表示に戻る

② 相手局(個別/グループ)番号を選択する

[▲]/[▼](選局)スイッチを押します。

※「全体」表示または「基地」表示の状態では個別番号、「グループ」表示の状態ではグループ番号が選択できます。

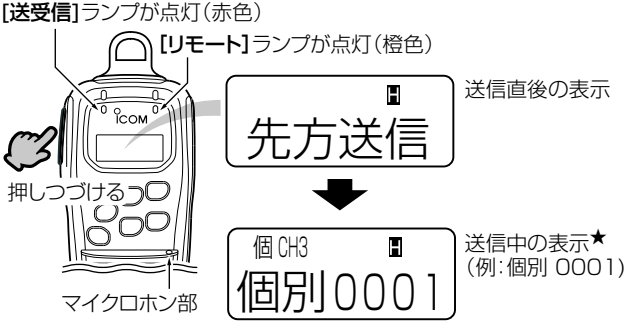
■ 交信のしかた(つづき)

3 呼び出しをする

[PTT](送信)スイッチを押しつづけると、**[送受信]**ランプが点灯(赤色)しますので、マイクロホン部に向かって、

『こちらは××局です。　○○さんどうぞ。』

と呼びかけたあと、**[PTT](送信)**スイッチをはなします。

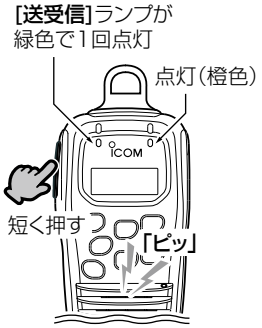


★個別呼び出し機能(☞P12)が設定されていない場合は、「先方送信」を表示(約2秒)後、通話チャンネル(CH)番号を表示します。

《ご注意》
ほかに通信する無線局がいない(**[送受信]**ランプが緑色に点灯していない)ことを確認してから呼び出しをしてください。

◇ アンサーバック機能について

個別呼び出し、または基地局呼び出しをするとき、**[PTT](送信)**スイッチを短く押すと、相手局が通話圏内にいるかどうかを確認できます。
相手局が通話圏内の場合、ビープ音が**「ピッ」**と鳴り、**[送受信]**ランプが緑色で1回点灯します。



4 呼び出しを受ける

個別呼び出しを受けたときだけ、「個着信」表示、🔔(ベル)表示と相手局の「個別番号(例:0004)」表示が点滅します。
[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクロホン部に向かって、

『**こちらは○○局です。　××さんどうぞ。**』

と応答します。

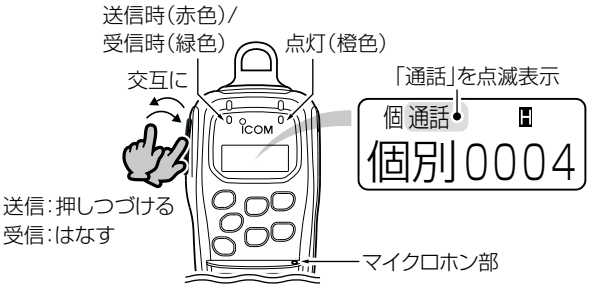
● 電波を受信中は、**[送受信]**ランプが緑色に点灯します。

[PTT](送信)、または**[全/基]**スイッチを押すと、点滅表示が停止して、**[▲]/[▼](選局)**スイッチを操作できます。

★着信したとき、**[送受信]**ランプを点滅(橙色)させたい場合は、着信表示の設定をお買い上げの販売店にご依頼ください。
※アンサーバック機能(☞P15)を使用しない場合、相手局番号を表示できないため、「－－－－－－」と表示されます。
※ **[送受信]**ランプが点灯(緑色)しても、相手の音声が聞こえないときは、他局の個別番号への呼び出しを意味します。
[モニター]スイッチを押すと、他局の音声が聞こえます。

5 交信する

相手局から呼び出しを受けた状態から、送信と受信を交互に繰り返すと、交信できます。
交信中は、「通話」表示を点滅します。
※ 双方同時に送信しても、交信できません。
※ 送信の終わりに『どうぞ』と言葉を添えると、スムーズに交信できます。
※ 再度相手局を呼び出すときは、呼び出しをする前の表示に戻ってから**[PTT](送信)**スイッチを押します。



5 エリア拡張システムでの運用方法

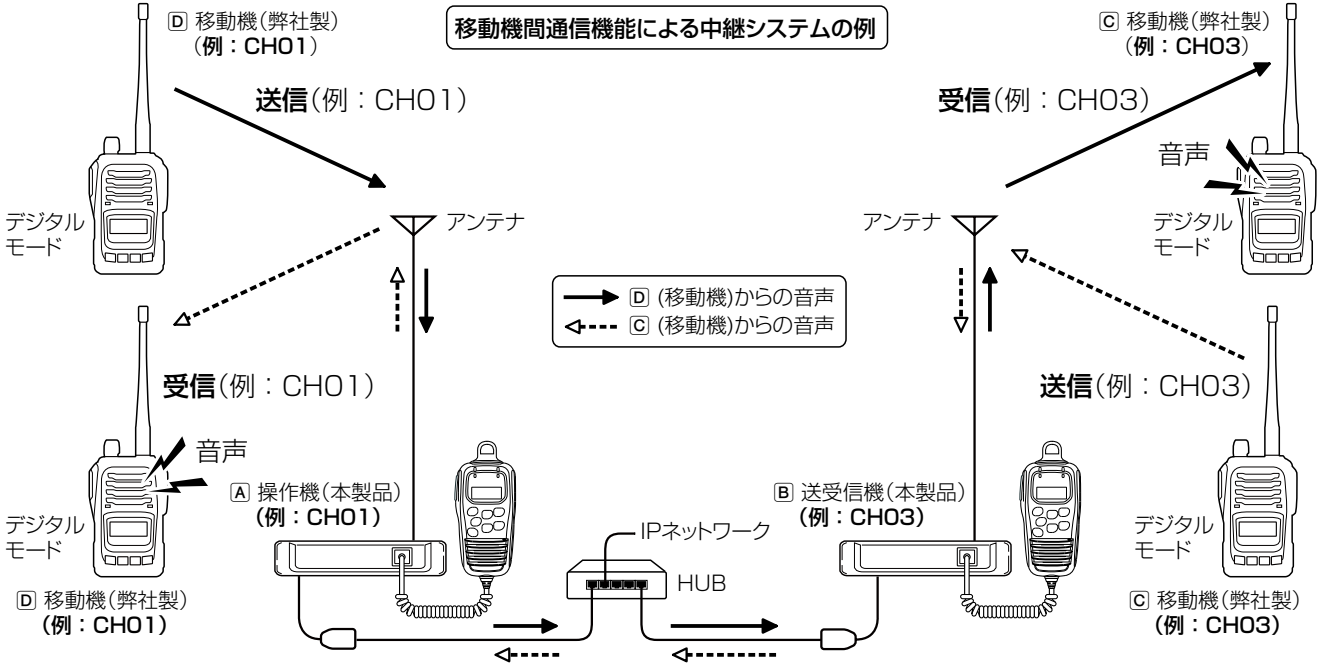
■ 移動機間通信機能を使用するには

IPネットワークを利用した中継装置として、本製品(操作機/送受信機)を運用する機能です。

移動機間通信機能が設定されている場合、[Ⓒ 移動機]、または[Ⓓ 移動機](IC-DU55C/IC-DU5505C)の電波を、本製品(Ⓐ 操作機/Ⓑ 送受信機)に接続されたIPネットワークを介して中継できます。

※各無線機の通話チャンネル(CH)番号の設定については、次ページをご覧ください。

移動機間通信機能をご使用になる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 移動機間通信機能を使用するには（つづき）

◎［C 移動機］から送信（例：CH03）された電波を［B 送受信機］で受信（例：CH03）すると、［C 移動機］の音声が、IPネットワークを介して、［A 操作機］から送信（例：CH01）され、［D 移動機］のスピーカーから聞こえます。
また、［D 移動機］から送信（例：CH01）された電波を［A 操作機］で受信（例：CH01）すると、［D 移動機］の音声が、IPネットワークを介して、［B 送受信機］から送信（例：CH03）され、［C 移動機］のスピーカーから聞こえます。

◎中継に使用する通話チャンネル（CH）番号は、［A 操作機］に接続されたマイクロホンで選択します。

【複数の通話チャンネル（CH）番号が設定されている場合】

［A 操作機］と［B 送受信機］は、同じ通話チャンネル（CH）番号を選択できません。
［B 送受信機］の通話チャンネル（CH）番号（☞P20）は、送信権（☞P19）を［B 送受信機］に切り替えてから選択します。
［A 操作機］の通話チャンネル（CH）番号（☞P20）は、送信権（☞P19）を［A 操作機］に切り替えてから選択します。
［C 移動機］の通話チャンネル（CH）番号は、［B 送受信機］（例：CH03）と同じ設定にしてください。
［D 移動機］の通話チャンネル（CH）番号は、［A 操作機］（例：CH01）と同じ設定にしてください。
※［C D 移動機］の通話チャンネル（CH）番号の選択方法については、ご使用になる移動機（IC-DU55C/IC-DU5505C）の取扱説明書をご覧ください。

【1つの通話チャンネル（CH）番号が設定されている場合】

［A 操作機］と［B 送受信機］は、同じ通話チャンネル（CH）番号を使用します。
［C D 移動機］の通話チャンネル（CH）番号は、［A 操作機］、または［B 送受信機］と同じ設定にしてください。
※［C D 移動機］の通話チャンネル（CH）番号の選択方法については、ご使用になる移動機（IC-DU55C/IC-DU5505C）の取扱説明書をご覧ください。

◎中継動作を使用しないときは、「エリア拡張システム」として、［A 操作機］に接続されたマイクロホンから［C 移動機］、または［D 移動機］の呼び出しができます。（☞P3、P19～P22）

※本製品のマイクロホンに「リモート解除」が表示（☞P35）されているときは、中継動作できません。
※［C D 移動機］がアナログモード、［A 操作機］が「遠隔制御システム」に設定されているときは、使用できません。
※［C D 移動機］から［A 操作機］を個別呼び出しするときは、移動機間の中継動作をしません。
※移動機間通信機能を使用する場合は、ユーザーコードが設定された通話チャンネル（CH）番号を必ずご使用ください。
ユーザーコードの設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

5 エリア拡張システムでの運用方法

■ 本製品から移動機を呼び出すには

操作機側に接続されたマイクロホンから呼び出しできます。

※本製品のマイクロホンに「リモート解除」が表示(☞P35)されているときは、呼び出しできません。

1 電波を送信する無線機(送信権)の選択

操作機の**[PTT](送信)**スイッチ押したとき、電波が送信される無線機(操作機または送受信機)を操作機側に接続されたマイクロホンから選択します。

※IPネットワーク接続成功直後(☞P10)の送信権は、送受信機側にあります。

◎操作機側の移動機を呼び出す場合

①**[リモート]**ランプが点灯(橙色)している場合は、操作機側のマイクロホンから手順②の操作をします。

②**[機能]**スイッチを長く押します。

●送信権が操作機側に切り替わります。

③**[リモート]**ランプの消灯を確認します。

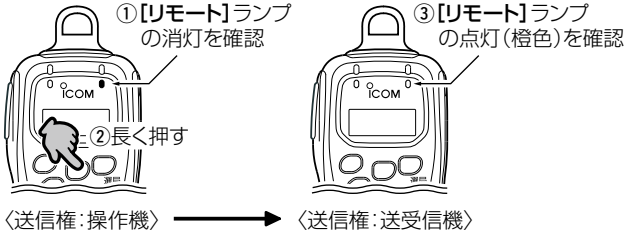
◎送受信機側の移動機を呼び出す場合

①**[リモート]**ランプが消灯している場合は、操作機側のマイクロホンから手順②の操作をします。

②**[機能]**スイッチを長く押します。

●送信権が送受信機側に切り替わります。

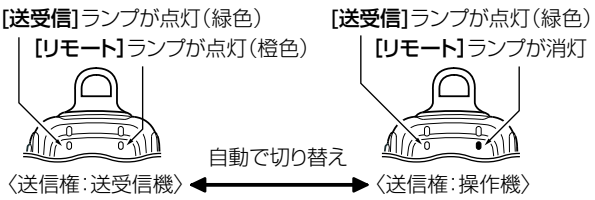
③**[リモート]**ランプの点灯(橙色)を確認します。



◇ 送信権の自動切り替えについて

電波を受信すると、電波を受信した側の無線機(操作機、または送受信機)に自動で送信権が切り替わります。

※受信中に、**[機能]**スイッチを長く押すと、送信権を強制的に切り替えて、約5秒後に受信した側に送信権を戻します。



2 通話チャンネル(CH)番号の選択

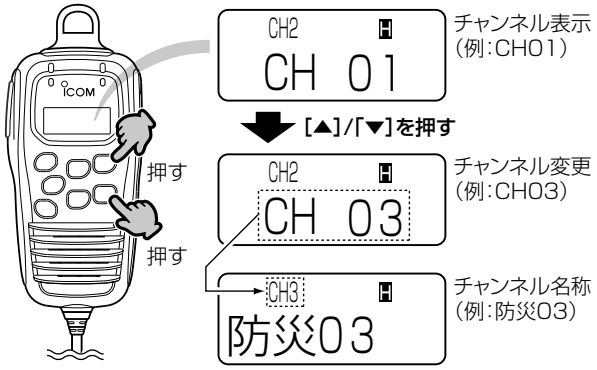
操作機側に接続されたマイクロホンを使用して、交信する相手局(移動機)と同じ通話チャンネル(CH)番号に設定します。

※ 送信権の選択(☞P19)によって、選択できる通話チャンネル(CH)番号が異なる場合がありますので、**[リモート]**ランプで送信権の状態を確認してから操作してください。

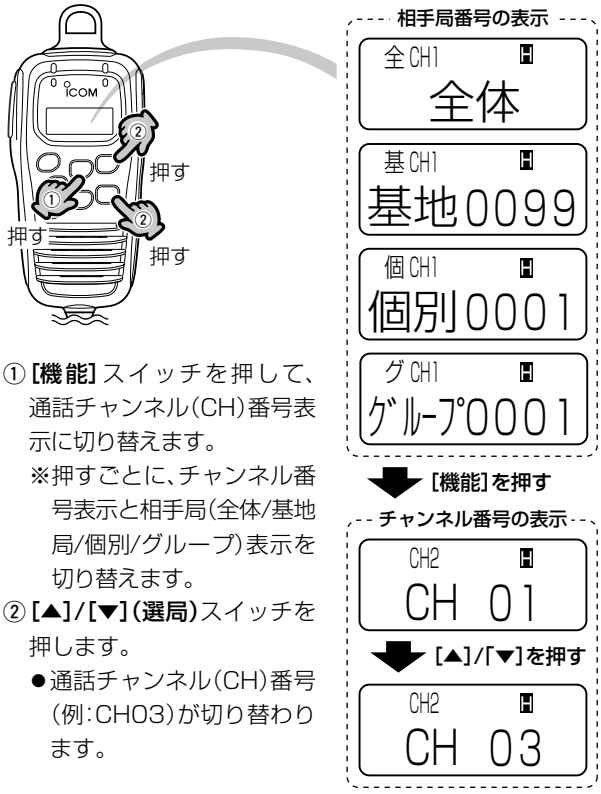
◎ **通話チャンネル(CH)番号が表示されている場合**

[▲]/[▼](選局)スイッチを押します。

● 通話チャンネル(CH)番号が切り替わります。



◎ **相手局番号が表示されている場合**



① **[機能]**スイッチを押して、通話チャンネル(CH)番号表示に切り替えます。

※押すごとに、チャンネル番号表示と相手局(全体/基地局/個別/グループ)表示を切り替えます。

② **[▲]/[▼](選局)**スイッチを押します。

● 通話チャンネル(CH)番号(例:CH03)が切り替わります。

■ 本製品から移動機を呼び出すには(つづき)

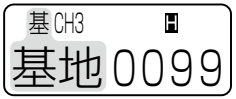
3 相手局番号の選択

相手局(移動局)を呼び出すには、相手局番号を下記の4種類(全体/基地局/個別/グループ)から選択します。

※個別呼び出し機能(☞P12)が設定されていない場合は、「4.呼び出しをする」に進みます。

◎ **全体呼び出し(全)→→→→→→→**
一斉に全局を呼び出します。

◎ **基地局呼び出し(基:0099)→→→**
「0001」～「9999」のうち基地局に指定された1局(出荷時の設定:0099)を呼び出します。



◎ **個別呼び出し(個:0001～9999)→**
「0001」～「9999」(自局番号を除く)のうち選択された1局を呼び出します。

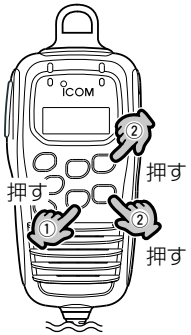
◎ **グループ呼び出し**
(グ/▚:0001～9999)→→→→→
「0001」～「9999」のグループ番号のうちグループメンバーに指定(▚)されたグループ番号の相手局を一斉に呼び出します。

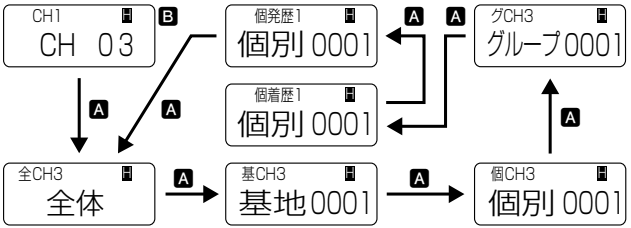
※相手局番号(基地局/個別/グループ/グループメンバー)の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

① 呼び出しかた(全体/基地/個別/グループ)を選択する

[全/基]スイッチを押すごとに、「全体(全)」→「基地(基)」→「個別(個)」→「グループ(グ)/グループメンバー(▚)」→「個別(個着歴)」→「個別(個発歴)」の順番に相手局表示を切り替えます。
また、一巡すると、「全体」表示に戻ります。

※全体、または基地局呼び出しの場合、手順②の操作は必要ありません。





A **[全/基]**スイッチを押す
B **[機能]**スイッチを押すと、通話チャンネル表示に戻る

② 相手局(個別/グループ)番号を選択する

[▲]/[▼](選局)スイッチを押します。

※「全体」表示または「基地」表示の状態では個別番号、「グループ」表示の状態ではグループ番号が選択できます。

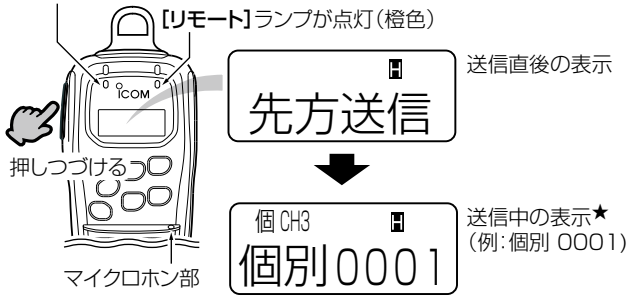
4 呼び出しをする

[PTT]（送信）スイッチを押しつづけると、**[送受信]**ランプが点灯（赤色）しますので、マイクロホン部に向かって、

『こちらは××局です。　○○さんどうぞ。』

と呼びかけたあと、**[PTT]（送信）**スイッチをはなします。

◎操作機側の移動機を呼び出す場合



★個別呼び出し機能（☞P12）が設定されていない場合は、「先方送信」を表示（約2秒）後、通話チャンネル（CH）番号を表示します。

《ご注意》
ほかに通信する無線局がいない（**[送受信]**ランプが緑色に点灯していない）ことを確認してから呼び出しをしてください。

◎送受信機側の移動機を呼び出す場合

◇ アンサーバック機能について

個別呼び出し、または基地局呼び出しをするとき、**[PTT]（送信）**スイッチを短く押すと、相手局が通話圏内にいるかどうかを確認できます。
相手局が通話圏内の場合、ビープ音が**「ピッ」**と鳴り、**[送受信]**ランプが緑色で1回点灯します。

■ 本製品から移動機を呼び出すには(つづき)

5 呼び出しを受ける

個別呼び出しを受けたときだけ、「個着信」表示、🔔(ベル)表示と相手局の「個別番号(例:0004)」表示が点滅します。
[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクロホン部に向かって、

『**こちらは○○局です。　××さんどうぞ。**』

と応答します。

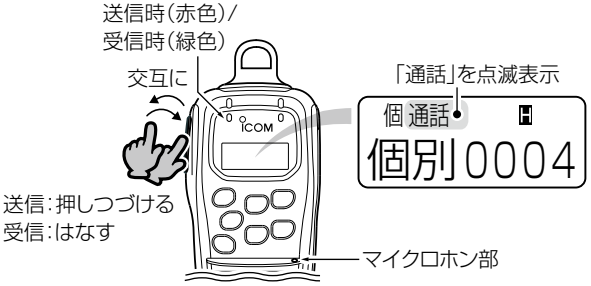
● 電波を受信中は、**[送受信]**ランプが緑色に点灯します。

[PTT](送信)、または**[全/基]**スイッチを押すと、点滅表示が停止して、**[▲]/[▼](選局)**スイッチを操作できます。

★着信したとき、**[送受信]**ランプを点滅(橙色)させたい場合は、着信表示の設定をお買い上げの販売店にご依頼ください。
※アンサーバック機能(☞P22)を使用しない場合、相手局番号を表示できないため、「－－－－－－」と表示されます。
※ **[送受信]**ランプが点灯(緑色)しても、相手の音声が聞こえないときは、他局の個別番号への呼び出しを意味します。**[モニター]**スイッチを押すと、他局の音声が聞こえます。

6 交信する

相手局から呼び出しを受けた状態から、送信と受信を交互に繰り返すと、交信できます。
交信中は、「通話」表示を点滅します。
※ 双方同時に送信しても、交信できません。
※ 送信の終わりに『どうぞ』と言葉を添えると、スムーズに交信できます。
※ 再度相手局を呼び出すときは、呼び出しをする前の表示に戻ってから**[PTT](送信)**スイッチを押します。



■ 内線通話機能

IPネットワークに接続された操作機と送受信機のあいだで内線通話できます。

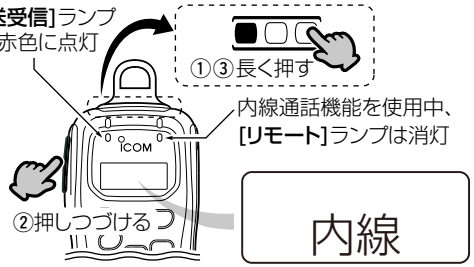
※内線通話機能は、この機能を設定している無線機側から操作できます。
設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【操作のしかた】

①表示部に「内線」と表示するまで、内線通話機能を設定している無線機の**[モニター]**スイッチを押します。
●相手側の表示部にも「内線」と表示します。

② **[PTT]（送信）**スイッチを押しながら、マイクロホン部に向かって、呼びかけたあと、**[PTT]（送信）**スイッチをはなします。
※双方同時に通話できません。

③内線通話を解除するときは、表示部の「内線」表示がほかの表示に切り替わるまで、内線通話機能を設定している無線機の**[モニター]**スイッチを押します。
※内線通話を解除するまで、移動局と交信できません。



■ ロック機能

不用意にマイクロホン（操作機/送受信機）のスイッチに触れても、設定や表示が変わらないようにします。

※操作機側、または送受信機側のマイクロホンから、別々に設定できます。

【操作のしかた】

ビープ音が**「ピピッ」**と鳴るまで、操作機側、または送受信機側の**[🔑]（ロック）**スイッチを押します。
●「🔒」を表示します。
※同じ操作をすると、解除できます。

〈ロック中に操作できるスイッチ〉

◎ **[🔑]（ロック）**スイッチ（ロック機能の解除）
◎ **[PTT]（送信）**スイッチ★
◎ **[モニター]**スイッチ（操作機のモニター機能（☞P27）、または内線通話の「ON」/「OFF」）
◎ **[電源]**スイッチ（電源の「ON」/「OFF」）
◎ **[全/基]**スイッチ（交信中の終話動作）★

★送受信機側では、ロック機能の「ON」/「OFF」に関係なく、IPネットワーク接続中の操作はできません。

※自動ロック機能、ロック中の**[+]/[−]（音量）**スイッチ操作をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ Pベル機能

呼び出し(全体/基地/個別/グループ)を受けたとき、応答するまで相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

Pベル機能が操作機側に設定(☞P29)されているときは、IPネットワーク接続中、操作機側に「Ⓟ」を表示します。

呼び出しを受けたとき、操作機側の**[PTT](送信)**スイッチを押すと、スケルチが開き、相手の音声が聞こえます。

■ ポケットビープ機能

IPネットワーク接続中、待ち受け状態で、「🔔(ベル)」が表示されている操作機で動作します。

着信したときは、ビープ音を鳴らし、ベルマークが点滅します。

[電源]以外のスイッチを押すと、ビープ音を停止できます。

※Pベル機能を「BOF」に設定(☞P29)された状態、または全体呼び出しやグループ呼び出しで着信したときは、鳴りません。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 送信出力の切り替え

送信出力の切り替えが設定されている場合、[全/基]スイッチを長く押すごとに、送信出力を切り替えできます。

※IPネットワーク接続中は、送受信機側からの切り替え操作はできません。

※「エリア拡張システム」では、送信権を切り替えると、操作機と送受信機の送信出力をそれぞれ切り替えできます。

※設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、通話チャンネル(CH)番号が一致する局に、緊急信号を送出して警告音でお知らせします。

[セット]スイッチを長く押すと、緊急呼び出し機能が動作します。

※緊急呼び出しを終了する場合は、電源を入れなおしてください。

※設定により、操作が異なる場合があります。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※個別呼び出し機能と緊急呼び出し機能の両方が送信側と受信側に設定されていない無線機は、相手局を呼び出しできません。

※あらかじめ設定されたIDと一致する相手局にだけ、緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しやその呼び出しを受けているあいだは、**[モニター]**スイッチ以外は操作できません。

※下記のような環境や本製品の設定状況では、通知できなかったり、通知しても警告音が鳴らなかったりする場合があります。

◎警告音が音量調整と連動して変化する場合
◎警告音を鳴らさない設定がされている場合
◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

⚠警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。
緊急呼び出し機能の設定をご希望の場合は、警告音の音量と[+]/[−](音量)スイッチが連動する設定でお使いいただくことをおすすめします。
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

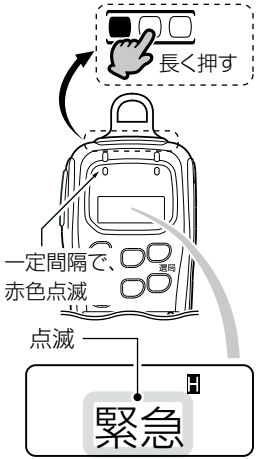
【呼び出しのしかた】

下記の操作をする前に、相手局と同じ通話チャンネル(CH)番号が選択されていることを確認してください。

①警告音が**「ピピピ･･･」**と鳴るまで、**[セット]**スイッチを長く押します。
- 「緊急」表示が点滅して、**[送受信]**ランプが一定の間隔で、赤色に点灯します。

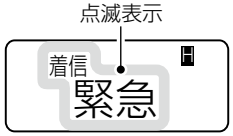
②その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
- 応答があると、警告音が停止して、**[送受信]**ランプが緑色に点灯します。

③交信をつづけます。
- 終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



【呼び出しを受けたときは】

①警告音が「ピピピ･･･」と鳴って、**[送受信]**ランプが赤色に点滅します。
同時に、「緊急」表示、「着信」表示が点滅します。



②**[PTT](送信)**スイッチを押して、応答します。
- 警告音が停止します。

③交信をつづけます。
- 終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。

■ ショートメッセージ機能

IPネットワーク接続時、デジタルモードで運用する移動機(IC-DU55C/IC-DU5505C)に、ショートメッセージを送信できます。

ショートメッセージ送信が操作機に設定されていると、**[PTT(送信)]**スイッチを押して送信するごとに、設定されたショートメッセージを送信します。

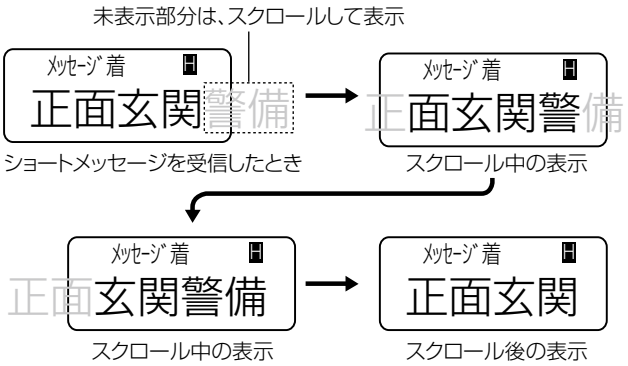
※受信したショートメッセージは、スクロール表示します。

※**[▲]/[▼](選局)**スイッチ、または**[機能]**スイッチを押すと、受信したショートメッセージを再度スクロール表示します。

※**[全/基]**スイッチを押すと、メッセージ表示を解除します。

※設定や操作方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

(例:「正面玄関警備」のショートメッセージを受信したとき)



■ 操作機のモニター機能

送受信機側の[モニター]スイッチを押しているあいだ、操作機のモニター機能が有効になります。

操作機のモニター機能は、次のような場合に使用します。

◎受信音がない状態で、**「ザー」**という音を聞きながら音量を調整するとき

◎通話チャンネル(CH)番号は同じで、相手局番号(☞P14、P20)が異なる他局の交信を聞くとき

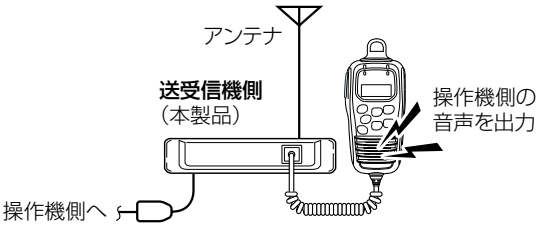
※操作機側に内線通話機能(☞P24)が設定されている場合、操作機のモニター機能は使用できません。

※IPネットワーク接続中、操作機のモニター機能は、送受信機から操作できません。

■ 送受信機のモニター機能

IPネットワーク接続時、操作機側で交信している通話内容を送受信機側に接続しているマイクロホンのスピーカーにも音声出力できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ IPネットワーク未接続時の動作について

本製品は、IPネットワークと接続しない状態になると、移動機用に使用されるIC-DU5505C(弊社製)と同じ機能が使用できます。

◎IPネットワーク未接続で、何も操作しない状態が約30秒間つづくと、右図のように表示します。
何か操作したときは、もとの表示に戻ります。

◎IPネットワークと接続したときに操作が制限される送受信機でも、IPネットワークと未接続になると、操作の制限が解除され操作機と同じスイッチが操作できます。

◎デジタル/アナログ混在モードに設定されている場合、IPネットワークに接続しない状態では、アナログモードで運用できますので、弊社製の業務用無線機(IC-UH35CTM、IC-UH37CTM)と交信できます。
アナログモードの機能を選択したときは、表示部に「A」が点灯します。
デジタル/アナログ混在モードの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

7 セットモードについて

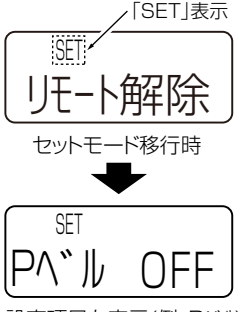
IPネットワーク接続時、お好みの運用状況に応じて、❶～❻の設定項目を操作機側の「セットモード」から変更できます。

❶ Pベル★　❷ マイクゲイン(☞P30)
❸ 発着信履歴消去★(☞P30)　❹ 外部スピーカー(☞P30)
❺ バックライト(☞P30)　❻ バックライトの明るさ(☞P31)

★個別呼び出し機能が設定されているとき、表示される設定項目(❶、❸)です。

■「セットモード」に移行するには

①操作機側の**[セット]**スイッチを短く押します。
- ビープ音が**「ピッ」**と鳴って、IPネットワークが切断されると同時に、「SET」を表示して、「セットモード」へ移行します。



②設定項目の切り替えは、**[機能]**スイッチ(順送り❶→❻)、または**[全/基]**スイッチ(逆送り❻→❶)を繰り返し短く押します。

③設定内容の変更は、**[▲]/[▼](選局)**スイッチを押します。

④手順②と③を繰り返して、ほかの設定項目を変更します。
※ 変更した設定内容を取り消すときは、手順②で別の設定項目の表示に切り替える前に電源を切って、「セットモード」を解除してください。

⑤設定を完了後、**[セット]**スイッチを押します。
- 変更内容を確定して、「セットモード」を解除します。

※「セットモード」を解除するまで交信できません。

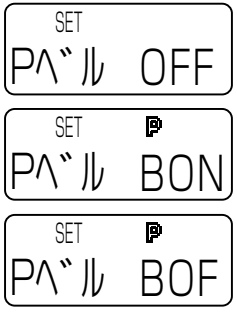
■ 設定項目について

❶ Pベル機能　(出荷時の設定:OFF)

Pベル機能(☞P25)を設定します。

※ 個別呼び出し機能が設定されているとき、表示される設定項目です。

- OFF :着信と同時に、相手の音声が聞こえる
- BON:応答するまで相手の音声をミュートして、音声のミュートと同時に、呼び出しを受けたことをブザー(ピー音、3回)で知らせる
  ※ポケットビープ機能(☞P25)と併用している場合は、このブザーが鳴ったあと、つづけて鳴ります。
- BOF :応答するまで相手の音声をミュートして、ブザーを鳴らさない
  ※ポケットビープ機能と併用している場合は、ポケットビープも鳴りません。

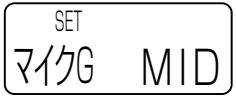


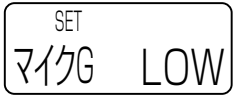
❷ マイクゲイン （出荷時の設定：MID）

マイクロホンの感度を設定します。

●選択範囲：HI（高）/MID（中）/LOW（低）

※ 周囲の騒音が大きい場所では、「LOW」に設定し、大きめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。また、周囲の雑音が小さい場所では、「HI」に設定し、小さめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。





❸ 発着信履歴の消去 （出荷時の設定：－－－）

自局番号や相手局番号（基地局番号/個別番号/グループ番号）の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。

※ 個別呼び出し機能が設定されているとき、表示される設定項目です。

●－－－：**[セット]**スイッチを押しても、消去されない

●CLR ：**[セット]**スイッチを押すと、消去される

❹ 外部スピーカー （出荷時の設定：ON）

外部スピーカー（別売品：SP-30）を本製品に接続したとき、マイクロホンに内蔵のスピーカーから音声を出力するかしないかを設定します。

●ON ：音声を出力する

●AUTO：音声を出力しない

❺ バックライト （出荷時の設定：ON）

マイクロホンの表示部と各スイッチの照明を設定します。

●ON ：電源ON時、常時点灯する

●AUTO：**[PTT]（送信）**スイッチ以外のスイッチ操作をしたとき、自動で点灯する

※ 5秒以上操作しない状態がつづくと消灯します。

●OFF ：点灯しない

■ 設定項目について(つづき)

❻ バックライトの明るさ (出荷時の設定:4)

マイクロホンの表示部と各スイッチの照明の明るさを設定します。

※ [バックライト](❺)が「OFF」に設定されている場合、設定項目に表示されません。

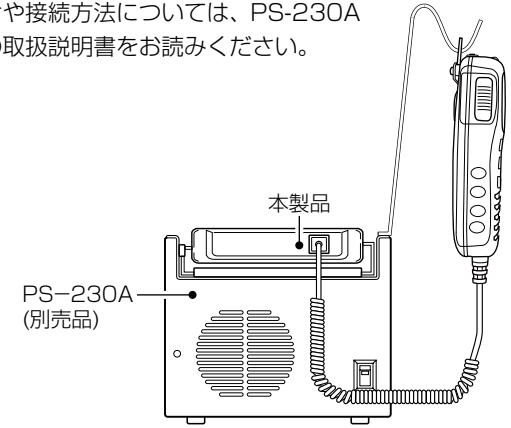
●選択範囲:1(暗い)〜7(明るい)

■ 設置のしかた

◇ 卓上電源装置を使用する場合

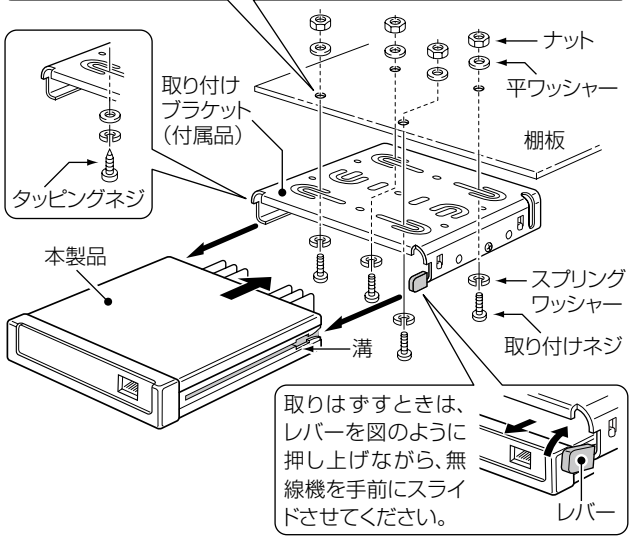
ACコンセントから本製品の電源を供給するときは、卓上電源装置(別売品:PS-230A)をご利用ください。

※ 取り付けや接続方法については、PS-230Aに付属の取扱説明書をお読みください。



◇ 取り付けブラケットを使用する場合

取り付けは、1.5kg以上の荷重に耐えられる場所を選んでください。
◎**取り付けネジを使用時** ：約5.5mmの下穴(4 ヵ所)を開ける。
◎**タッピングネジを使用時**：約3mmの下穴(4 ヵ所)を開ける。

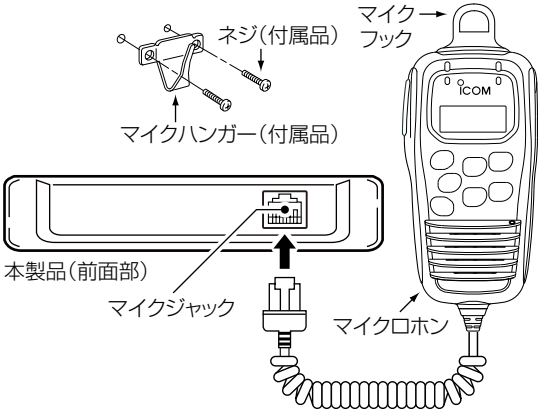


本製品は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置しないでください。

9 本製品の接続について

■ マイクロホンの接続について

マイクロホン(付属品)は、「カチッ」と音が鳴るまで、本製品のマイクジャックに差し込んでください。

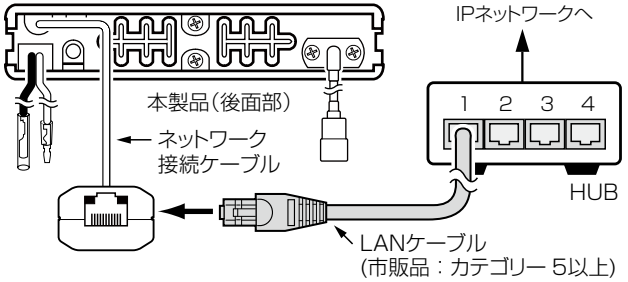


⚠注意　説明と異なる接続をしないでください。
マイクロホンとLANケーブルのプラグは、同じ形状です。接続を間違えると、故障の原因になることがありますので、ご注意ください。

【ご参考】 本製品の設置場所とマイクロホンを使用する場所がはなれているときは、マイクロホン延長ケーブル(別売品:OPC-647)をお使いください。

■ LANケーブルの接続について

本製品(操作機/送受信機)をLANケーブル(市販品)で接続します。

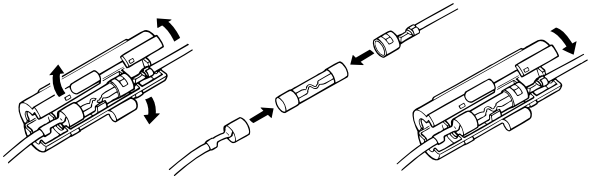


※本製品(操作機と送受信機)は、1つの建物、または管理された敷地内など、比較的限られた範囲に構築されたIPネットワーク(専用線など)と接続してください。
※LANケーブルは、カテゴリー5以上をご用意ください。
カテゴリーの低いLANケーブルを同じIPネットワーク上に混用すると、一番低いグレードにあわせて全体のケーブル特性が低下しますので、ご注意ください。
※HUBから本製品までの総延長距離は、Ethernet規格の最大長制限(100m)にしたがって接続してください。
※IPネットワークの構成を変更するときは、本製品の設定を変更する必要がありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。
※クロス結線のLANケーブル、またはクロス変換アダプターを使用すると、操作機と送受信機を直接接続できます。

■ ヒューズの交換について

付属のDC電源ケーブルには、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。

※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



■ 日常のお手入れと点検について

◎**清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**

ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。

ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

◎定期的に決まった相手局と交信して、交信状態に変化がないか調べてください。

◎音量が最小に調整されていないか、マイクロホンの**[モニター]**スイッチを押しながら**[+]/[−](音量)**スイッチを押して、表示部の音量表示(☞P11)を確認してください。

※操作機側に内線通話機能(☞P24)が設定されている場合、**[モニター]**スイッチは、内線通話切り替え用として動作します。

■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(☞P36)までお問い合わせください。

〈現象〉電源が入らない

〈原因1〉 DC電源ケーブルの接続不良

処置: 安定化電源装置(DC13.8V/2A以上)、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)との接続を確認する

〈原因2〉 ヒューズの断線、または安定化電源装置の極性とDC電源ケーブル(付属品)が逆に接続されている

処置: 安定化電源装置との接続、またはヒューズの断線を確認する

〈現象〉音が出ない

〈原因1〉 外部スピーカー、またはマイクロホンが接続されていない

処置: SP-30(別売品)、または付属のマイクロホンを接続する(☞P33)

〈原因2〉 音量が最小に調整されている

処置: 音量調整値を確認する(☞P11)

■ 故障かな？と思ったら（つづき）

〈現象〉「リモート解除」が表示される

〈原因1〉 操作機、または送受信機の電源が入っていない
処置：操作機と送受信機の電源が入っていることを確認する

〈原因2〉 操作機、または送受信機をセットモードにしている
処置：セットモードを解除する（☞P29）

〈原因3〉 本製品（操作機と送受信機）がIPネットワークと接続されていない
処置：LANケーブルの接続、およびHUBなどのネットワーク機器との接続を確認する

〈原因4〉 送受信機に設定された本製品同士がIPネットワークで接続されている
処置：操作機（1台）と送受信機（1台）を接続する

〈原因5〉 IPネットワークの障害
処置：ネットワーク管理者に確認する

〈現象〉「両操作機」が表示される

〈原　因〉 操作機に設定された本製品同士がIPネットワークで接続されている
処置：操作機（1台）と送受信機（1台）を接続する

〈現象〉通話チャンネル（CH）番号、相手局番号などが変更できない

〈原因1〉 ロック機能が動作している
対処：ロック機能を解除する（☞P24）

〈原因2〉 送受信機側のマイクロホンを操作している
処置：操作機側のマイクロホンを操作する

〈現象〉交信できない（応答がない）

〈原　因〉 相手局と通話チャンネル（CH）番号が合っていない
処置：相手局と通話チャンネル（CH）番号を同じにする、さらに個別呼び出し機能でご使用の場合は、相手局番号を選択する

〈現象〉アンサーバック機能が動作しない

〈原因1〉 個別呼び出し機能が設定されていない
処置：設定をお買い上げの販売店に依頼する

〈原因2〉 全体、またはグループ呼び出しで相手局を呼び出した
処置：個別呼び出しで相手局を呼び出す

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな？と思ったら」(☞P34、P35)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先:アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール:support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ:http://www.icom.co.jp/

● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

11 別売品について

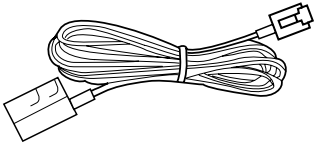
◎PS-230A
卓上電源装置

◎HM-187
マイクロホン(補修用)

◎SP-30
外部スピーカー

定格出力　　:20W
インピーダンス:4Ω

◎OPC-647
マイクロホン延長ケーブル(約2.5m)



【別売品についてのご注意】
弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

高品質がテーマです。

A-6861H-1J
Printed in Japan
© 2010 Icom Inc.

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32